

中国の台頭とアジア諸国の機械関連産業
- 新たなビジネスチャンスと分業再編への対応 -

大原 盛樹 編著

2003年 9月

日本貿易振興会
アジア経済研究所

本報告書の無断転載を禁止する

調査研究報告書

開発経済共同研究推進事業 2003 -05

『アジア諸国の機械産業 - 中国の台頭と国際分業再編成 - 』研究会
“ The Growing Importance of China and The Re-structuring of the Division of Labor in
Asian Machinery-related Industry ”

KEIRIN



この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。

はしがき

本書は、アジア経済研究所の平成15年度「アジア諸国の機械産業—中国の台頭と国際分業再編成—」研究会（主査：アジア経済研究所 大原盛樹）の最終報告書である。

本書は、国際化が著しく進展した機械関連産業における、アジア諸国と中国の経済関係をまとめたものである。各国の機械関連産業に従事する企業や政府の、「中国の台頭」に対する認識と戦略、そして投資、貿易、市場競争を通じた対応の実態を、アジア諸国の視点から描く。それにより、中国の発展がアジアにもたらす新しいビジネスチャンスの勃興と競争圧力の増大、そしてそれらに対応して立ち現れるアジアの新しい分業関係の大まかな全体像を浮かび上がらせよう、というのが本書の最終的な目的である。

本書の特色は次の点にある。第一に、各国の現地の視点を重視している。本書の主な執筆者は、共同研究を実施したアジア7カ国の8つの著名な経済研究機関の研究者である。日本人研究者は、周辺国の一つである日本の産業・企業の対応について執筆する者と、各国の共同研究者と協調しながら、彼等の議論を補足し、深める役回りの者からなる。海外研究者は40、50歳代、国内研究者は30歳代の若手が中心にタイアップし、現地で一緒に調査をしながら議論を重ねてきた。第二に、ある個別の産業を対象を絞るよりも、「機械関連産業」として、純粋な産業機械製品からパソコンや半導体のようなIT、エレクトロニクス製品まで、あるいは資本財から耐久消費財の完成品・部品までにわたる、幅広い製品分野を対象にしている。本書で求めたのが、分析の緻密さよりも、関係する諸産業が絡まり合うアジアの全体像だからである。第三に、技術的な判断を下すよりも、企業の経営、特に取引関係と戦略に焦点を当てた。第二の点とも関わり合うが、モノづくりだけではなく、製品開発、販売、ブランドの確立と言った他の重要な活動も視野にいれるためである。

本研究会は今年4月に発足し、9月末までの6ヶ月間で終了するものである。まず海外の8研究機関と共同研究を実施した。日本では9名の日本人委員を中心にした研究会を6回開催し、8月に日本人委員が海外共同研究機関と現地調査を実施した。9月17日には幕張にある海外職業訓練協会(OVTA)でワークショップを実施した。ワークショップには、中国、台湾、韓国、タイの共同研究者も参加し、併せて愛知(トヨタ自動車)と静岡(日本ビニロン、本田技研工業)で企業見学を実施した。最終成果は、本書と同時に、海外共同研究の成果をまとめた英文報告書 *The Growing Importance of China and the Asian Machinery-related Industries — New Business Opportunities and Restructuring of Division of Labor —* (Edited by Moriki OHARA, IDE-JETRO, 2003) としても出版される。

半年という短い期間にこれだけ豊富な内容の活動ができたのは、国内外の共同研究者および研究会メンバー、研究会とワークショップに貢献いただいた専門家諸氏(竹内順子、曹斗燮、川上桃子、望月克哉、下村暢子、山下和行、松尾弘子、陳添枝、金都亨、朴良燮、Yupha

Klangsuwan、恒石隆雄、佐藤百合、奥田聡、佐藤幸人、内川秀二、木村公一朗、竹内孝之、張萍の各氏)、調査を実施させていただいた国内外の諸企業の皆様のおかげである。心より厚く御礼申しあげる。また編者のすべき膨大な業務を肩代わりしてくれた事務統括横山光紀、幹事渡辺雄一の両氏の労を多としたい。前年、前々年度の研究会代表者として適宜アドバイスをいただいた水野順子、山形辰史の両氏、最後まで献身的に作業をこなしてくれた秋山晋吾、高口康太、水田大紀、松浦真衣子の各氏、翻訳をお手伝いいただいたリングア・ギルド及び小林信行氏、本書完成まで面倒を見ていただいた膳光社にも感謝申しあげる。

2003年9月

編者

平成15年度「アジア諸国の機械産業－中国の台頭と国際分業再編成－」

●国内研究会メンバー

大原 盛樹	日本貿易振興会アジア経済研究所地域研究第一部(主査)
横山 光紀	日本貿易振興会アジア経済研究所開発研修室課長代理(事務統括)
渡辺 雄一	日本貿易振興会アジア経済研究所開発研修室(幹事)
丸川 知雄	東京大学社会科学研究所助教授
渡邊 博子	(財)機械振興協会経済研究所調査研究部研究副主幹
加茂紀子	日本大学商学部助教授
山下 協子	(株)現代文化研究所マーケティング研究室主事
日向 裕弥	日本貿易振興会海外調査部中国・北アジアチーム
二階堂有子	法政大学大学院社会科学研究所博士課程
石田 暁恵	日本貿易振興会アジア経済研究所研究コーディネーター(オブザーバー)

●海外共同研究代表者・機関

田豊倫(中国)	重慶社会科学院経済研究所長
林泓(中国)	山東省国際技術経済研究所長
楊平燮(韓国)	韓国貿易協會貿易研究所研究員
王文娟(台湾)	中華經濟研究院第二研究所副研究員
タマウィット・ターウドンタム(タイ)	タマサート大学経済学部助教授
グエン・キム・アイン(ベトナム)	中央経済管理研究所研究員
レピ・T・タルミディ(インドネシア)	インドネシア大学経済学部経済社会研究所教授
K.V. ラマスワミー(インド)	インディラガンジー研究所準教授

目 次

はしがき	大原 盛樹
第1章 総論：アジアの機械関連産業における「中国の台頭」	
－市場と分業の全体像	大原 盛樹 1
はじめに	1
第1節 アジア諸国の機械関連産業の得意分野－貿易データから	2
第2節 中国の機械関連製品貿易の特色	10
第3節 アジアの市場階層	17
第4節 アジアの直接投資	24
第5節 本書の要約と論点	25
第1部：グローバル化する中国経済	
第2章 中国の外資導入と日系企業の対中投資	
日向 裕弥	33
はじめに	33
第1節 中国経済における外資	33
第2節 日系企業の中国進出	39
第3節 日本企業の東アジアの分業体制と中国事業の課題	46
おわりに	51
第3章 中国企業の海外進出	
－海爾の米国展開と重慶二輪車メーカーのベトナム投資－	
大原 盛樹・田 豊倫・林 泓	53
はじめに	53
第1節 中国の直接投資の現状と変化	54
第2節 地場企業が主導する輸出製品－冷蔵庫と二輪車	58
第3節 海爾集団の海外展開と米国への直接投資	61
第4節 重慶私営二輪車メーカーのベトナム進出－後進国市場の潜在需要の開拓と課題	68

まとめ	自由貿易時代における中国地場企業の海外進出の困難と活路	85
-----	-----------------------------	----

第2部：東アジア諸国の対応

第4章	日系家電メーカーにおけるグローバル化の進展と分業再編成	渡邊 博子 91
	はじめに	91
	第1節 世界における日系家電メーカーの位置とその現況	92
	第2節 日系家電メーカーのグローバル化の変遷と分業体制	99
	第3節 日系家電メーカーの新たなグローバル化と分業再編成	106
第5章	日本自動車産業のアジア戦略	
	－国際分業パターンの特質と1998年以降の状況変化－	加茂 紀子 115
	はじめに	115
	第1節 中国における日系自動車企業	117
	第2節 ASEANにおける日系自動車産業－ASEAN諸国を舞台とする自動車製品の分業	120
	第3節 競争のフェーズ変化	128
	第4節 日系自動車企業によるアジア分業の変化	130
	第5節 貿易統計からみる日系自動車産業のアジア分業	136
	第6節 むすび	149
第6章	韓国：機械関連産業での中国の台頭と中韓経済協力	楊 平燮 (渡辺雄一編訳) 151
	第1節 中韓経済協力の現状	151
	第2節 韓国の機械関連主要メーカーの戦略と対応－事例研究	161
	第3節 韓国政府の戦略と対応	180
	第4節 結論	182
第7章	台湾：台中間の貿易・投資と電子・IT産業における兩岸分業関係の深化	
		王 文娟 189
	はじめに	189
	第1節 台中間の投資と貿易の発展	190
	第2節 電子・IT産業での台中間の分業関係	196
	第3節 事例研究	201
	まとめ 政府の政策転換、台中間分業再編のメリット、デメリット	213

第3部：東南・南アジア諸国の対応

第8章 タイ：機械関連産業における中国の影響と地場企業、政府の対応

.....タマウィット・ターウドンタム、 クリエンクライ・テチャカノン、キアンアナン・ラウケーウ	221
はじめに	221
第1節 機械関連産業の概観	223
第2節 ケーススタディ	229
第3節 タイ政府の政策	245
第4節 結論	247

第9章 タイの二輪車産業—好調な国内市場と中国の影響—.....横山 光紀 249

はじめに	249
第1節 二輪車産業の概観	250
第2節 貿易	257
第3節 二輪車関連政策	259
第4節 結論	261

第10章 ベトナム：機械関連産業におけるベトナムと中国

.....チャン・ティエン・クオン、 グエン・キム・アイン、ファム・デュック・チュン (ホアン・ベト、丸川知雄訳)	265
はじめに	265
第1節 ベトナムと中国との貿易・投資関係の概要	266
第2節 機械関連産業におけるベトナムと中国との経済関係	269
第3節 機械関連産業での中国との経済関係に関するベトナム中央政府および 地方政府の対応	279
結論	283

第11章 ベトナムの機械関連産業と中国.....丸川 知雄 289

第1節 ベトナムの機械関連産業の概況	289
第2節 ベトナムの機械関連産業	292
第3節 中国との貿易関係	296
第4節 二輪車産業における中国との関係	300

第 12 章	インドネシア：機械関連産業における中国の影響・・・レピ・T・タルミディ	305
	はじめに 調査の目的と方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	305
	第 1 節 インドネシアの機械関連産業・・・・・・・・・・・・・・・・	306
	第 2 節 事例研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	309
	第 3 節 機械関連製造業におけるインドネシアと中国との関係・・・・・・・・	319
	第 4 節 インドネシアー中国間の経済関係に関わる政策・・・・・・・・	328
	まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	330
第 13 章	インドネシアの自動車産業と二輪車産業	
	ー中国の影響と分業再編の展望ー・・・・・・・・・・・・・・・・	山下 協子 333
	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	333
	第 1 節 インドネシアの四輪車産業の現状と自動車産業政策の変容・・・・・・・・	334
	第 2 節 二輪車産業の現状・・・・・・・・・・・・・・・・	340
	第 3 節 部品産業の発展と日系企業・・・・・・・・・・・・・・・・	343
	第 4 節 インドネシアの自動車・二輪車産業の展望と AFTA 形成後の分業体制・・・・・・・・	345
第 14 章	インド：機械関連産業のグローバル化と産業再編における中国の影響	
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	K.V. ラマスワミー 349
	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	349
	第 1 節 目的と方法・・・・・・・・・・・・・・・・	350
	第 2 節 貿易構造と主要輸出市場：インドと中国の対比・・・・・・・・	352
	第 3 節 インドの機械関連産業の構造・・・・・・・・	362
	第 4 節 企業の事例研究ー中国との関連を中心に・・・・・・・・	369
	第 5 節 まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・	374
第 15 章	グローバリゼーション下の中国の台頭とインド自動車・二輪車産業	
	・・・・・・・・・・・・・・・・	二階堂 有子 379
	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	379
	第 1 節 インド自動車産業の現状・・・・・・・・	381
	第 2 節 自動車産業育成政策・・・・・・・・	385
	第 3 節 インド自動車産業の貿易構造・・・・・・・・	390
	第 4 節 事例研究・・・・・・・・	397
	第 5 節 むすびにかえて・・・・・・・・	399